

和歌山県新宮市

新宮市高田区における観光モデルコースの造成



【地域の基礎データ】

人口：26,759 人（令和 3 年 10 月 1 日現在）

高齢化率：37.5%（令和 3 年 1 月 1 日現在）

産業：製材業、製紙業、漁業、林業 など

【活動の基本情報】

参加学生数：9 名（1 回生：5 名、2 回生：3 名、3 回生：1 名）

活動期間：令和 2 年 6 月～令和 4 年 1 月

担当教員：尾久土正己

1. 活動実施の経緯

新宮市は和歌山県南東部に位置し、熊野三山の一つ「熊野速玉大社」が鎮座するまちとして栄えてきた。高田区は新宮市中心部より西側に位置し、かつては高田村として発展してきた地域である。この高田区について、地域の魅力ある観光資源が存在しているにも関わらず、若年層を中心に十分な誘客ができていない状況にあり、これらの地域における誘客は新宮市の観光において重要となる。そこで、実際に現地での交流や地域の観光資源の体験を通して、様々な観光事情や魅力を知ってもらうこと、それについて広く発信できる力を身につけてもらうことを目的とし、学生主体での新鮮な観光モデルコースの造成を行うこととした。

2. 活動の内容

2021 年度は、新型コロナウイルス感染症のために現地研修ができず、オンラインでの交流だけ終わってしまったが、今年度は 10 月と 1 月に 1 泊 2 日の現地研修を 2 回実施することができた（1 月は人数を 2 人に絞って実施）。10 月の現地研修後は、新宮市役所商工観光課の担当者と zoom を使い、週 1 回の頻度でミーティングを重ね、目標であるモデルコース案を 2 コース造成することができた。出来上がったコース案の確認のために 1 月下旬に 2 回目の現地研修を行い、完成させたのが右ページのモデルコースである。

3. 活動を通じて

「これまで学んできた経営的観点や地域活性化についての知識と、現実の問題を照らし合わせながら実践的な学習をすることができた」（2 回生）など、学部での講義科目で得た知見を現場で活用することができたと多くの学生が答えており、理論と実践、座学と実習の両輪の必要性を改めて確認することができた。

4. 活動を通じて

2021年度

新宮市高田区LIP

～新宮市高田区における観光モデルコースの造成～

<高田区の現状>

高田区は地域の魅力ある観光資源が存在しているにも関わらず、若年層を中心に十分な誘客ができていない。

<今年度の活動目標>

新宮市高田区と連携し、現地での交流や観光資源の体験を通して、学生主体での新鮮な観光モデルコースの造成を行う。

自然と歴史を味わう
のんびり女子旅

男の新宮旅







<現地研修1回目（10月）>

新宮市側に組んでいただいたプランに基づき、高田地区・新宮市内の各所を訪問。夜には星空観察を行い、新宮市における星空観光の可能性について模索した。

<現地研修2回目（1月）>

代表者2名が新宮市を訪問し、造成したモデルコースの確認と修正を行った。1回目で訪れられなかった場所にも行き、モデルコースの改良につなげた。